



タウン薬局による

わくわくサイエンスショー

2017.7.27
@中野公民館



安芸区の中野公民館において、“わくわくサイエンスショー”を開催しました。

今回は広島国際大学薬学部、中野公民館、そしてタウン薬局との共催で行い、45名の小学生の参加がありました。第1部は、タウン薬局によるサイエンスショーで、まずは4つのコーナーを薬剤師が担当し、それぞれの内容について説明をしました。

①「さわってみよう！カラフルスライム」のコーナーでは、きらきらスライム・マシュマロスライム・かたくり粉スライムの3つを用意し、皆さんに体験していただきました。かたくり粉スライムのぎゅっと握ると個体になり、力をゆるめると液体になる“ダイラタンシー現象”について説明したところ、保護者の方から、「中華を作っている時の疑問が解けました」と喜んでいただけました。



カツラだよ！



②「なかなか消えない！ビッグシャボン玉」のコーナーでは、割れにくい工夫をした液で作ったシャボン玉が手袋を装着した手の上でボールのようにポンポンと跳ねる現象を体験したり、大きなシャボン玉作りを体験してもらいました。保護者の方からは、「なぜ球体になるのか」など、表面張力についての質問をいただきました。

カツラです！

③「身近な飲み物で簡単サイエンス」のコーナーでは、鉄剤とお茶の色の変化（キレート生成）やヨウ素を含んだうがい液とビタミンCの色の変化（還元）を見てもらいました。このコーナーでは、お薬をきちんとお水で飲むことの大変さやうがい液の1回量を知ってもらうことから、お薬の適正使用を理解してもらうことも目的としました。



④「あわあわ化学実験」のコーナーでは、重曹とクエン酸をお湯に入れた時に泡が沢山出る反応をまず見て頂き、泡がなぜ出るのか、泡の正体が何であるかということを説明しました。自宅でも楽しんでいただけるよう、重曹とクエン酸に食紅で色を付けたかたくり粉とアロマオイルを入れて固め、お土産として持って帰っていただきました。

第2部は、広島国際大学薬学部によるサイエンスショーで、ゲストとして池田教授、堀教授、寺岡助教、そして5年生の薬学生さん2名の計5名の方が大学からお越しくださいました。まずは、池田教授より「 Dengue熱」について講義があり、次に天然ハーブ虫除けスプレーの作り方をご紹介いただきました。その後薬学生さん達に教えて頂きながら、実際に子ども達に虫除けスプレーを作ってもらいました。10%エタノール水溶液を10ml量ってスプレーボトルに入れてもらう時には、水剤を測る時の基本であるメニスカスの面と目の高さを一致させ秤量する方法を子ども達にも体験してもらいました。



何種類もあるアロマオイルの中から自分の好きなオイルを選んで容器に入れることや名前を書いたシールを貼ることも、とても嬉しそうに取り組んでくれました。



寺岡助教からは、「指紋検出」について教えていただきました。紙に掌を押し付け、液をふきかけた後にラミネーターで熱を加えることにより、紫色になって浮き出てくるニンヒドリン反応を使った実験で、子ども達一人一人に体験してもらいました。色を濃くするために自分のおでこや顔を一生懸命触った掌を紙に押し付け、何もなかった用紙に掌が浮き出てくるのを見て、驚いていました。

今回のサイエンスショーを通して子ども達が“かがく”を身近に感じて好きになり、将来、一人でも多くの子ども達が薬剤師を目指してくれると嬉しいです。今回ご依頼くださいました中野公民館の神田館長と担当して下さった廣川様、そして、多大なるご協力をしてくださいました広島国際大学の池田教授、堀教授、寺岡助教、そして学生さんに心よりお礼申し上げます。



ここからはじまる、元気な未来。

COCOKALA
GROUP